

プロジェクト研究発表



P-01

移動体芸術、現実感芸術、Critical Cycling

Critical Cycling+移動体芸術+現実感芸術展
2019 Winter



P-02

池田町有線放送電話プロジェクト

池田町有線放送電話プロジェクト



P-03

あしたをプロトタイピングするプロジェクト

あしたをプロトタイピングするプロジェクト展示



P-04

福祉の技術プロジェクト

福祉の技術プロジェクトの活動報告



P-05

メディア表現学研究プロジェクト

つくる人、すむ人、みる人でつくる
コミュニティ・アーカイブ〈坂倉準三篇〉



P-06

体験拡張環境プロジェクト

体験拡張環境プロジェクト研究発表



P-07

あたらしいTOYプロジェクト

あたらしいTOYプロジェクト展示



P-08

根尾コ・クリエイション

生きるための創造と技術



P-09

タイムベースドメディア・プロジェクト

タイムベースドメディア2019展



P-10

アートを／で考えるプロジェクト

「変異する尋常」展



イベントスペース

これからの創造のためのプラットフォーム

トークイベント

ご挨拶

このたび、IAMAS（イアマス）は「IAMAS 2019」と題して、第17期生による修了研究発表会および2018年度のプロジェクト研究発表会を開催します。科学的知性と芸術的感性の融合を掲げる本研究科においては、多くの人が自身の専門を軸にしつつも、異なる領域に積極的に足を踏み入れて行きます。またそれは自分の領域の視点から、他の世界を捉えることでもあります。私たちの活動は、常に「場違いの場所」に赴く行為のようでした。そこで生まれた表現は、その領域にある文脈を正当に受け継いだ表現ばかりではありません。なぜなら私たちは、自身の専門領域による視点を忘れずに持ち続け、その上で他の領域の現状を見つめ、既存の価値観に埋もれ切り捨てられてしまったものを拾い上げ、表現を通して新たな疑問を投げかけているからです。そして私たちはそのことを自覚的に、あえて「場違いの場所」に身を置き、制作・研究を行ってきました。本展覧会では、そのような背景を持った多種多様な分野の作品・研究が並びます。制作者が領域を跨いで独自に紡いできた一つ一つの文脈を含め、修士研究の成果をご高覧いただけたら幸いです。

イベントスケジュール

2.22 FRI	16:00 - 17:30	トークイベント「映像表現と人類学」 これからの創造のためのプラットフォーム	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	16:00 - 20:00	音楽イベント「NxPC.Live vol.34」 NxPC.Lab	1F セミナーホール
2.23 SAT	11:00 - 12:00	トークイベント「養老アート・ピクニック・トーク with IAMAS Radio(仮)」 移動体芸術	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	12:30 - 13:30	トークイベント「映像作品『同じ月を見つめて』と南北問題」 竹村望	3F シアター
	14:00 - 15:30	トークイベント「境界とアート」 アン セビン + Art Thinking Project (ATP)	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	16:00 - 17:30	トークイベント「YCAM vs IAMAS」 産業文化研究センター [RCIC]	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	8:00 -	イベント「クリティカル・サイクリング早朝耐寒ライド」 Critical Cycling	1F 南側入口 集合
2.24 SUN	10:15 - 11:15	トークイベント「あたらしい TOY with IAMAS Radio(仮)」 あたらしい TOY プロジェクト	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	11:30 - 12:30	トークイベント「問題を引き受け、伝えること」 ゲスト：高嶺格（美術作家・演出家）	
	13:00 - 14:00	トークイベント「最適化が進む " 明るい " 未来」 ゲスト：若林恵（編集者）	3F イベントスペース (メイン会場入口前)
	14:30 - 15:30	トークイベント「日常から表現へ」 ゲスト：石川将也（ユーフラテス 所属 研究員 / 映像作家 / グラフィックデザイナー）	
	16:00 - 17:00	音楽イベント「タイムベースドメディア・ガムランコンサート」 タイムベースドメディア・プロジェクト	4F エントランス

撮影について

当展覧会是一部の撮影禁止作品を除くすべての写真・動画の撮影が可能です。但し、フラッシュ撮影、長尺の動画撮影はご遠慮ください。撮影禁止作品は、右のサインで明示しています。



情報科学芸術大学院大学
Institute of Advanced Media Arts and Sciences

503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7
TEL : 0584-75-6600 / FAX : 0584-75-6637
MAIL : event@ml.iamas.ac.jp
WEB : www.iamas.ac.jp

関連企画

O-01 進学相談

情報科学芸術大学院大学を詳しく知りたい方、あるいは受験を希望されている方のために、進学相談を実施します。入試やカリキュラムについて、また進路先などのご相談に応じます。

※ 会期中随時受付

O-02 RCIC活動報告

産業文化研究センター[RCIC]は、IAMASの産官学連携、文化活動、広報活動を担うIAMASの附属機関である。本展示では、今年度の実施した主な連携活動や、現在運営しているOBOGインタビューサイト等、実際の制作物とも紹介する。

O-03 小さな南原食堂

岐阜県大垣市を拠点とする南原兄弟によるコミュニティ食堂「南原食堂」が、特設店「小さな南原食堂」をオープンします。あたたかいスープなどの軽食や、小林孝浩教授が営む「小林農園(仮)」にて焙煎された特製豆で入れたコーヒーをご用意しております。是非お立ち寄りください。
※ 2月23日(土)、24日(日)のみ営業

O-04 安藤 泰彦教授 退官記念展示

《Sleepless Babies 2019 ―眠れぬ子らのために―》を展示します。本作品は、京都、ギャラリー16で展示した作品「Sleepless Babies」(塩田京子氏企画「living will vol.1」)を原型とし、2019年の作品として再構成したものです。

IAMAS 2019 場違いの場所で

2019

2.21^水 - 2.24^土

10:00-18:00

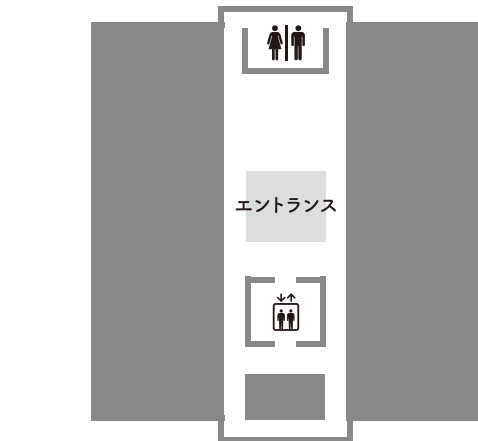
2月21日のみ13:00-18:00
入場無料 | Admission Free
ソフトピアジャパン・センタービル

情報科学芸術大学院大学
第17期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会
Graduation and Project Research Exhibition

<https://www.iamas.ac.jp/exhibit19/>

フロアガイド

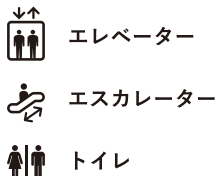
4F



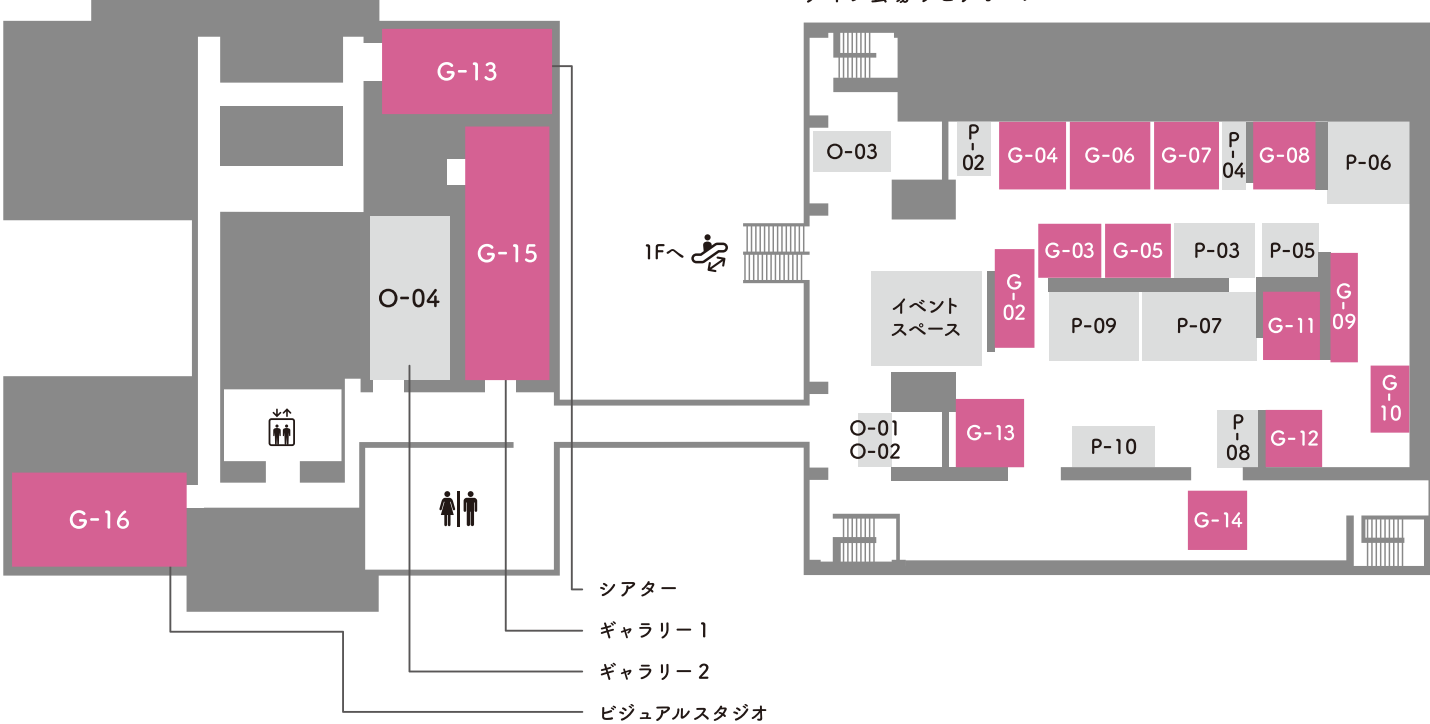
G- 修了作品

P- プロジェクト研究発表

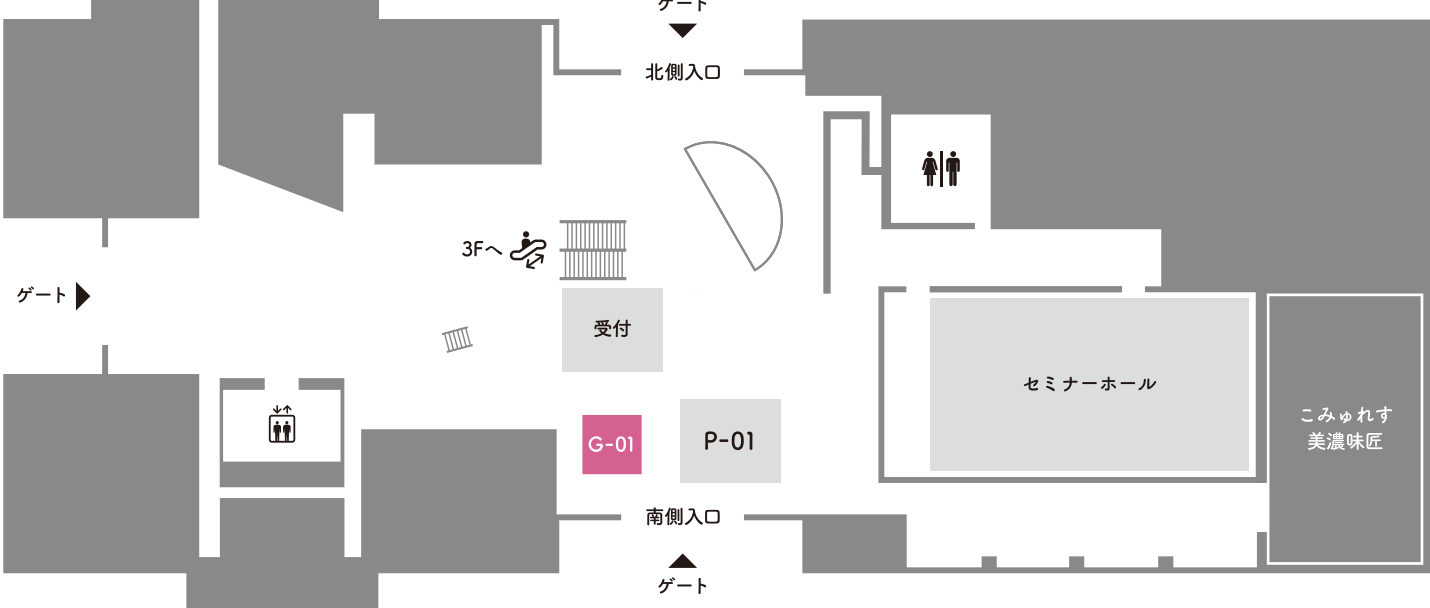
O- 関連企画



3F



1F



修了作品

G-01 特殊自転車

Human-Framed Cycle
チェンヨン | CHOI Siyoung



Human-Framed Cycle は、右脚の裏側の面積を使って、後ろ方向に自走する自転車である。この作品を体験しながら得られる身体感覚は、普段のものとは離れたものになり、体験者は、未知の道具に接するとき現れる自分の身体的な癖に直面したり、自らの知覚を見直すことになる。

G-02 クリティカルデザイン/
メタデザイン

DIEGESIS DESIGN
ー左利きの場合

荏原 洋夢 | EHARA Hiromu



現代において問題は細分化され、問題自体を理解することが困難になった。多くのデザイン手法は問題を表層的に変化させているに過ぎず、数多の問題は既に解決不能である。問題解決のための第一歩として問題叙述型デザインアプローチを提唱し、その試行を左利きの直面する問題を例に実行した。

G-03 演奏動画配信ツール

LiveLoop Interpreter
飯島 祥 | IJIMA Sho



LiveLoop Interpreter は、ループペダルを用いたギター演奏における演奏動画撮影の際に、拡張現実を加えるツールであり、観客が、演奏者の身体を通じたアイデンティティの主張に対する解釈を深めるためのものである。本作品を通じて、観客が鑑賞を深めるための、新しい演奏の配信スタイルを提案する。

G-04 ワークショップ

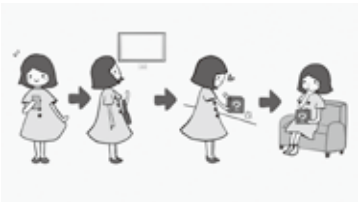
モノトーク
野呂 祐人 | NORO Yuto



モノトークは、造形行為を通じて他者と繋がる体験をするワークショップである。複数人でペアやチームを作り、「会話をしない」というルールを設け、一つのカタチと一緒に作る。言葉による明確な意思疎通をしなくても、互いの造形表現を重ねていくことで、他者と関わることができる場を共有する。

G-05 ミュージアム
マーケティング

ミュージアム・グッズ、
買って帰って使う。って
どういうこと？
後藤 祐希 | GOTO Yuki



本研究は美術館において、個人が鑑賞後にミュージアム・グッズを購入し、使用するという一連のプロセスから、価値創造を探索するものである。展示ではミュージアム・グッズを巡る個人のストーリーに焦点を当て、個人の中で創られて行く価値を辿る。

G-06 エディトリアルデザイン

雑誌
[MOKKE-Neotoymalife]
ギン イギョン | KIM Yikyong



「MOKKE」は本巣市根尾（岐阜県にある中山間地域）に移住した人々の幸福感と移住に関連する冊子である。根尾を選択して移住した人々の主観的な幸福感の規定要因を対象に 1 対 1 でインタビューし、冊子「MOKKE」にまとめて情報発信。この冊子では活動を通して現在根尾に住んでいる自分の変化と論点を踏まえて、幸福感を語る。

G-07 福祉 ×
メディアアート

特別支援学校の児童を対象とした
外出への機運を醸成する試み
湯澤 大樹 | YUZAWA Taiki



肢体不自由児の特性に、外出や運動頻度の少なさが挙げられる。外出は自立した生活を送るためにも欠かすことはできない。そこで、特別支援学校の児童に対し、段階的に外出支援の為のワークショップを提案・実施したのでそれらについてのプロセスと、開発をした車椅子に脱着可能な「オープン・ハンドサイクル」の展示を行う。

G-08 クリティカルデザイン

Privacy ON
棚原 みずき | TANAHARA Mizuki



Privacy ON は twitter,google,facebook 使用ユーザーのプライバシー設定を、5つのネットライフスタイルに合わせ自動的に変更するサービスである。私たちは、本サービスを使用することで、インターネット企業が情報の個別化に利用する、個人に関する情報を能動的に取捨選択できる。

G-09 ビデオ
インスタレーション

displayed_scape
小濱 史雄 | KOHAMA Fumio



ディスプレイを窓枠と見立てたり、ディスプレイに映り込んだ表象を情報の海と例えるなど、我々はその先に風景を求めてしまう。ディスプレイの内側と外側の環境にある記号や要素を置き換える行為を通して、自由に画面の内側と外側を往復する現代人にとってのディスプレイと風景の関係について問い直す作品である。

G-10 パフォーマンス/
映像表現

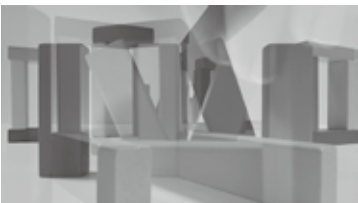
Sequences/
Consequences
中路 景暁 | NAKAJI Hiroaki



ベルトコンベアーを用いて行われる 50 個のシーケンスを連ねた映像作品である。本作品はソーシャルメディアの登場によって日常のシーンの中に表現としての価値が見いだせるようになったことを背景に、装置を用いた表現を捉え直しその可能性を模索した作品である。

G-11 メディア空間における彫刻

Translucent Objects
平瀬 未来 | HIRASE Miki



出来事を2台のカメラで表裏から撮影し、その2つの映像を不透明度50%の状態にし、重ね合わせた映像である。撮影された物体は半透明の状態となり、2つの映像内の物体の位置が重なり合うことで不透過の部分が現れる。この不透過の部分を「メディア空間における彫刻」とし、メディアを通してモノを見ることを再考させる。

G-12 モーションコミック

宇宙人、ひとり。/
メリー・ゴー・ラウンド
尾焼津 早織 | OYAIZU Saori



従来とは異なるマンガのコマ割りとし、読み順に沿ったカメラワークを組み合わせたモーションコミック（マンガを元にした映像作品）手法を用いた作品。本作は、異なる永遠の在り方を描いた連作を、それぞれ違うコマ割りとカメラワークで表現している。

G-13 自己省察的
ドキュメンタリー

同じ月を見つめて
竹村 望 | TAKEMURA Nozomi



2017 年から 2018 年にかけて、ある養鶏場で、外国人技能実習生と生活を共にし、仕事をした経験を基にして制作した映像。養鶏場で起こった出来事や帰国した元実習生の姿を追う中で、割り切れない問題や、自身の狡猾さへの気づきなど複合的な葛藤を織り交ぜながら見つめていく作品。

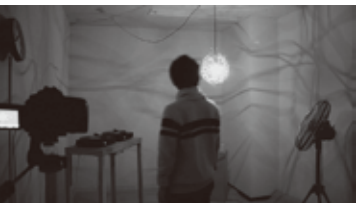
修了作品発表

G-15 ギャラリー1	2.22 FRI	11:30-12:30		
ダンスパフォーマンス 「ἔθος」 箕浦 慧 MINOURA Kei	2.23 SAT	11:30-12:30	14:00-15:00	17:00-18:00
	2.24 SUN	11:30-12:30	14:00-15:00	

G-13 シアター	2.21 THU	14:30-	16:00-	
同じ月を見つめて 竹村 望 TAKEMURA Nozomi	2.22 FRI	11:00-	13:00-	14:30- 16:00-
	2.23 SAT	11:30- (上映終了後トーク 12:30-13:30)	14:30-	16:30-
	2.24 SUN	13:00-	14:20-	15:40-

G-14 インスタレーション

或る脈動の部屋
小寺 諒 | KOTERA Ryo



家電製品をはじめとする多種多様な機械を、あらかじめ記録・編集された鼓動に従って動作させ、1つの部屋を生き物のような擬似的な身体空間に見立て、構築した作品である。複数の機械が構成する1つのシステムが観客を取り囲み、身体とテクノロジーの在り方を問いかける。

G-15 ダンスパフォーマンス

ダンスパフォーマンス
「ἔθος」
箕浦 慧 | MINOURA Kei



「ἔθος(エートス)」はメディアテクノロジーを織り交ぜた 48 分の舞踊作品である。仮想空間において 3 D ポリゴンのダンサーに振付けを行い、それを映像として現実空間に再帰させ実際のダンサーと共演させることに挑戦している。現実と仮想現実の間に生まれる新たな身体に祝福を込めてこの作品を提示する。

G-16 インスタレーション

Birds in the Veiled World
アン セビン | AN Sebin



Birds in the Veiled World は、朝鮮半島の非武装地帯(DMZ)を背景とした、「鳥・環境・人」の混成体(ハイブリッド)状態に対するアート作品である。韓国の鉄原(チョルウォン)という地域と、その場所に飛来するタンチョウに焦点を当て、人と鳥が互いに関係し合っている状況を表現している。

各回15分前から入場していただけます。また定員35名に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお越しください。※途中入場不可

各回約1時間。※途中入場不可
2/23 11:30-12:30の上映終了後に、トークイベント「映像作品『同じ月を見つめて』と南北問題」を開催します。トークイベントのみもご入場いただけます。